



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 東京テアトル株式会社

上場取引所 東

コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅 TEL 03-3355-1010

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,306	22.7	1,627		1,151		2,292	
2020年3月期	17,218	6.1	173	62.6	251	54.0	50	63.0

(注) 包括利益 2021年3月期 2,038百万円 (%) 2020年3月期 127百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	303.13		18.5	4.6	12.2
2020年3月期	6.60		0.4	1.0	1.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	26,107	11,300	43.2	1,496.95
2020年3月期	23,984	13,547	56.5	1,767.57

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,272百万円 2020年3月期 13,547百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	582	665	1,760	4,387
2020年3月期	588	459	308	3,757

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	76	151.5	0.6
2021年3月期		0.00		0.00	0.00	0	0.0	0.0
2022年3月期(予想)								

2022年3月期の配当予想については現時点では未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、現時点で合理的な算定が困難なことから未定としております。連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示します。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 有
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	8,013,000 株	2020年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	482,967 株	2020年3月期	348,647 株
期中平均株式数	2021年3月期	7,562,744 株	2020年3月期	7,676,722 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,587	15.7	468		370		1,352	
2020年3月期	11,378	7.2	87	78.4	162	62.7	41	90.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	178.86	
2020年3月期	5.43	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	22,989	11,277	49.1	1,497.61
2020年3月期	21,370	12,613	59.0	1,645.79

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,277百万円 2020年3月期 12,613百万円

< 個別業績の前期実績値との差異理由 >

新型コロナウイルスの感染拡大により、映画館や飲食店の来店客数が大幅に落ち込み、中古マンション再生販売においては仕入件数が伸び悩んだことから、前年度と比べて大幅な減収減益となりました。また特別損失に、映画館や飲食店の減損損失や飲食事業を営む連結子会社に対する関係会社株式評価損や貸倒引当金繰入額を計上したこと等により、当期純損失がさらに悪化し、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値の間に差異が生じております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（以下「当年度」といいます。）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会経済活動が大きく制限される中、景気は急速に悪化いたしました。停滞していた社会経済活動は徐々に再開しつつありましたが、再び感染拡大が見られるなど、未だ収束時期が見通せないことから厳しい経済環境が続き、先行き不透明な状況で推移しております。

このような経済環境のもと、苦戦を強いられた飲食事業の業績が著しく悪化したこと等から、当年度の連結業績は売上高13,306百万円（前年度比22.7%減）、営業損失1,627百万円（前年度は営業利益173百万円）、経常損失1,151百万円（前年度は経常利益251百万円）となり、特別損失671百万円を計上したこと等から親会社株主に帰属する当期純損失は2,292百万円（前年度は親会社株主に帰属する当期純利益50百万円）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年度	当年度	増減
売上高	17,218	13,306	△3,912
営業利益	173	△1,627	△1,800
経常利益	251	△1,151	△1,402
親会社株主に帰属する当期純利益	50	△2,292	△2,343

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

なお、当社は、2020年6月12日に「映像関連事業」セグメントにおいて字幕版・吹替版の制作を行うアクシー株式会社の発行済株式90%を取得し、連結子会社といたしました。

■セグメント別外部売上高（百万円）

	前年度	当年度	増減
映像関連事業	4,249	4,110	△139
飲食関連事業	6,378	3,426	△2,952
不動産関連事業	6,589	5,769	△820
計	17,218	13,306	△3,912

■セグメント別営業利益（百万円）

	前年度	当年度	増減
映像関連事業	45	△553	△599
飲食関連事業	6	△1,302	△1,308
不動産関連事業	899	952	+52
調整額	△777	△723	+54
計	173	△1,627	△1,800

<映像関連事業>

(映画興行事業)

『花束みたいな恋をした』『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』『3年目のデビュー』など一部の作品は高稼働いたしました。昨年4月から6月上旬にかけて全館を休館し、営業再開後も感染予防対策として客席数の販売制限や営業時間の短縮を行ったことから前年度比で大幅な減収となりました。

2020年10月18日に「シネ・リーブル神戸」は、4スクリーンの内1スクリーンの営業を終了いたしました。当年度末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末から1スクリーン減の9館23スクリーンです。

(映画配給事業)

主力作品『それいけ！アンパンマン』が公開延期となりましたが、『花束みたいな恋をした』が当社配給作品の歴代1位となる興行収入を記録したことや、アクシー株式会社の売上を加算したことから、前年度比で大幅な増収となりました。

(ソリューション事業)

新規クライアントや新規商材の開拓に取り組んだものの、既存クライアントからの番組出稿やイベントプロモーション、シネアド等、広告受注が大幅に減少し、前年度比で大幅な減収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は4,110百万円(前年度比3.3%減)となり、映画興行事業の減益が響き営業損失は553百万円(前年度は営業利益45百万円)となりました。

<飲食関連事業>

(飲食事業)

自治体からの要請に伴い、度重なる休業や営業時間の短縮を余儀なくされた他、外出及び会食の自粛や企業の在宅勤務実施によるマーケットの縮小等、居酒屋業態を取り巻く環境は極めて厳しい状況が続き、売上高は前年度から半減いたしました。

■飲食店の店舗数

	前年度末	当年度末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	44	41	△3
串焼専門店「串鳥番外地」他	5	5	0
ダイニング&バー	8	6	△2
飲食店 合計	57	52	△5

※2020年10月16日に「アオヤマ・マルマーレ」を、同年12月30日に「リビングバー新宿」を、2021年3月13日に「串鳥岩見沢店」を閉店いたしました。また2021年3月24日に「串鳥本店」「串鳥南4条店」「串鳥中央店」を統合し、「串鳥中央本店」が移転オープンいたしました。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は3,426百万円(前年度比46.3%減)となり、営業損失は1,302百万円(前年度は営業利益6百万円)となりました。

<不動産関連事業>

(不動産賃貸事業)

賃貸ビルにおいて高稼働を維持し、前年度並みの売上高を維持いたしました。

(中古マンション再生販売事業)

緊急事態宣言中、大手仲介会社の営業自粛等の影響から物件供給量が不足し、当社においても上半期の仕入れ件数が低水準で推移し販売件数が減少したことに加え、低価格帯物件の販売が中心となったことから、前年度比で減収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は5,769百万円(前年度比12.4%減)となりましたが、需要の高まりを受け、中古マンションのマーケット価格が上昇したことやワンストップサービス「リノまま」の受注件数が伸びたことから営業利益率が上がり、営業利益は952百万円(前年度比5.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当年度末の資産合計は、前年度末と比べて2,123百万円増加し、26,107百万円となりました。これは、現金及び預金が891百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が1,614百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前年度末と比べて4,370百万円増加し14,807百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,394百万円増加したこと、有利子負債が1,996百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前年度末と比べて2,247百万円減少し、11,300百万円となりました。これは、利益剰余金が2,369百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が253百万円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前年度末より629百万円増加し4,387百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は582百万円（前年度比1,170百万円増）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純損失が1,807百万円、減価償却費が490百万円、減損損失が564百万円となったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は665百万円（前年度比205百万円増）となりました。この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出431百万円、有形固定資産の取得による支出190百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は1,760百万円（前年度比2,069百万円増）となりました。この主な要因は、長期借入による収入が3,480百万円となったこと、長期借入金の返済による支出が1,486百万円となったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

2022年3月期の連結業績予想につきましては、未定としております。新型コロナウイルスの感染収束まで、休業や営業時間短縮が要請されること等が予測されます。それらの影響を合理的に見積もることが、現時点で困難と判断したためです。今後、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準により連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,783,651	4,674,723
受取手形及び売掛金	466,185	2,080,907
有価証券	200,000	—
商品	209,370	148,746
販売用不動産	1,281,706	1,034,832
貯蔵品	23,230	23,018
その他	597,757	940,752
貸倒引当金	△486	△2,737
流動資産合計	6,561,415	8,900,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,402,409	8,188,625
減価償却累計額	△3,849,932	△3,990,700
建物及び構築物(純額)	4,552,477	4,197,925
機械装置及び運搬具	171,322	163,162
減価償却累計額	△138,448	△145,079
機械装置及び運搬具(純額)	32,874	18,083
工具、器具及び備品	872,419	848,610
減価償却累計額	△617,459	△650,101
工具、器具及び備品(純額)	254,960	198,509
土地	9,977,189	9,977,617
リース資産	192,383	172,008
減価償却累計額	△133,539	△150,701
リース資産(純額)	58,843	21,306
有形固定資産合計	14,876,345	14,413,442
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	55,153	39,662
のれん	—	157,067
その他	3,776	3,995
無形固定資産合計	93,167	234,962
投資その他の資産		
投資有価証券	1,684,345	2,019,528
長期貸付金	440	420
差入保証金	411,508	412,759
繰延税金資産	238,950	17,324
その他	208,410	201,822
貸倒引当金	△90,085	△92,964
投資その他の資産合計	2,453,569	2,558,889
固定資産合計	17,423,082	17,207,294
資産合計	23,984,497	26,107,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829,758	2,224,274
短期借入金	40,000	80,000
1年内償還予定の社債	—	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,017,044	1,390,976
リース債務	35,957	32,634
未払金	379,229	1,984,135
未払法人税等	49,719	49,405
前受金	168,551	137,021
賞与引当金	174,820	154,055
事業所閉鎖損失引当金	—	11,616
その他	399,665	522,109
流動負債合計	3,094,746	6,766,229
固定負債		
社債	380,000	200,000
長期借入金	2,714,926	4,334,124
リース債務	57,633	24,504
長期未払金	1,157,800	—
長期預り保証金	826,405	556,706
繰延税金負債	310,117	623,942
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	923,653	962,263
資産除去債務	121,192	488,950
固定負債合計	7,342,445	8,041,208
負債合計	10,437,191	14,807,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	4,064,938	1,695,800
自己株式	△553,136	△712,915
株主資本合計	11,802,089	9,273,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,307	261,022
土地再評価差額金	1,737,910	1,737,910
その他の包括利益累計額合計	1,745,217	1,998,933
非支配株主持分	—	27,995
純資産合計	13,547,306	11,300,100
負債純資産合計	23,984,497	26,107,538

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	17,218,262	13,306,037
売上原価	12,580,569	10,787,131
売上総利益	4,637,693	2,518,906
販売費及び一般管理費		
役員報酬	215,301	247,048
広告宣伝費	68,441	26,038
人件費	2,478,355	2,181,157
賞与引当金繰入額	116,371	93,265
退職給付費用	63,719	69,185
賃借料	350,426	352,504
水道光熱費	229,523	166,956
貸倒引当金繰入額	3,295	24,376
その他	938,654	985,666
販売費及び一般管理費合計	4,464,088	4,146,199
営業利益又は営業損失(△)	173,605	△1,627,293
営業外収益		
受取利息	1,060	46
受取配当金	77,980	63,071
助成金収入	—	436,620
貸倒引当金戻入額	22,909	19,245
その他	14,124	22,846
営業外収益合計	116,074	541,830
営業外費用		
支払利息	35,347	39,837
借入関連費用	1,916	14,648
その他	954	11,509
営業外費用合計	38,218	65,995
経常利益又は経常損失(△)	251,461	△1,151,458
特別利益		
受取補償金	55,670	16,000
特別利益合計	55,670	16,000
特別損失		
投資有価証券評価損	57	254
固定資産除却損	60,225	77,422
減損損失	168,084	564,410
事業所閉鎖損失	—	18,214
事業所閉鎖損失引当金繰入額	—	11,616
特別損失合計	228,367	671,918
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	78,764	△1,807,376
法人税、住民税及び事業税	59,749	18,519
法人税等調整額	△31,623	465,963
法人税等合計	28,126	484,483
当期純利益又は当期純損失(△)	50,638	△2,291,860
非支配株主に帰属する当期純利益	—	633
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	50,638	△2,292,494

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	50,638	△2,291,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178,119	253,715
その他の包括利益合計	△178,119	253,715
包括利益	△127,480	△2,038,144
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△127,480	△2,038,778
非支配株主に係る包括利益	—	633

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,552,640	3,737,647	4,091,077	△537,820	11,843,544
当期変動額					
剰余金の配当			△76,777		△76,777
親会社株主に帰属する当期純利益			50,638		50,638
自己株式の取得				△15,315	△15,315
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	△26,139	△15,315	△41,455
当期末残高	4,552,640	3,737,647	4,064,938	△553,136	11,802,089

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	185,426	1,737,910	1,923,336	13,766,881
当期変動額				
剰余金の配当			—	△76,777
親会社株主に帰属する当期純利益			—	50,638
自己株式の取得			—	△15,315
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△178,119		△178,119	△178,119
当期変動額合計	△178,119	—	△178,119	△219,574
当期末残高	7,307	1,737,910	1,745,217	13,547,306

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,552,640	3,737,647	4,064,938	△553,136	11,802,089
当期変動額					
剰余金の配当			△76,643		△76,643
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,292,494		△2,292,494
自己株式の取得				△159,779	△159,779
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△2,369,137	△159,779	△2,528,916
当期末残高	4,552,640	3,737,647	1,695,800	△712,915	9,273,172

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	7,307	1,737,910	1,745,217	—	13,547,306
当期変動額					
剰余金の配当					△76,643
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△2,292,494
自己株式の取得					△159,779
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	253,715		253,715	27,995	281,711
当期変動額合計	253,715	—	253,715	27,995	△2,247,205
当期末残高	261,022	1,737,910	1,998,933	27,995	11,300,100

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	78,764	△1,807,376
減価償却費	407,121	490,208
減損損失	168,084	564,410
のれん償却額	—	27,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,383	5,130
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,533	△29,969
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	52,646	38,609
事業所閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	11,616
受取利息	△1,060	△46
受取配当金	△77,980	△63,071
助成金収入	—	△436,620
支払利息	35,347	39,837
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,207	△3,150
投資有価証券評価損益(△は益)	57	254
固定資産除却損	60,225	77,422
商品評価損	7,763	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	301,756	309,313
売上債権の増減額(△は増加)	306,747	△1,557,188
仕入債務の増減額(△は減少)	△660,050	1,367,190
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,020	△217,077
その他の負債の増減額(△は減少)	12,666	242,458
小計	653,944	△940,330
利息及び配当金の受取額	79,040	63,117
助成金の受取額	—	367,472
利息の支払額	△35,392	△41,880
法人税等の支払額	△109,585	△30,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,007	△582,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	9,526	7,121
有形固定資産の取得による支出	△361,426	△190,663
有形固定資産の解体による支出	△12,614	—
無形固定資産の取得による支出	△24,506	△1,380
資産除去債務の履行による支出	△1,739	△10,315
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△431,036
定期預金の預入による支出	△66,199	△61,200
その他の収入	4,334	35,692
その他の支出	△6,764	△13,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,389	△665,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90,000	40,000
長期借入れによる収入	955,000	3,480,000
長期借入金の返済による支出	△1,047,132	△1,486,870
リース債務の返済による支出	△35,231	△36,451
自己株式の取得による支出	△15,315	△159,779
配当金の支払額	△76,320	△76,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308,999	1,760,864
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△180,381	513,051
現金及び現金同等物の期首残高	3,938,032	3,757,651
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	116,820
現金及び現金同等物の期末残高	3,757,651	4,387,523

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

飲食関連事業において、店舗の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積額の変更を行っております。

この見積りの変更による増加額367,035千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。なお、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部について減損損失を計上したこと等により、当連結会計年度の税金等調整前当期純損失が232,973千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社はサービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱うサービスについての国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「映像関連事業」、「飲食関連事業」及び「不動産関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「映像関連事業」は、映画の興行、映画の配給、映画・ドラマの制作、総合広告サービス、イベント企画をしております。「飲食関連事業」は、飲食店の経営をしております。「不動産関連事業」は、不動産の賃貸、中古マンション等の再生販売、マンション等のリフォームをしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。また、セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計
売上高				
外部顧客に対する売上高	4,249,446	6,378,983	6,589,832	17,218,262
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	226	5,387	5,613
計	4,249,446	6,379,209	6,595,220	17,223,876
セグメント利益又は損失(△)	45,762	6,065	899,124	950,951
セグメント資産	1,300,337	3,132,518	13,303,239	17,736,095
その他の項目				
減価償却費	58,358	177,945	140,353	376,657
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	52,078	226,432	72,302	350,813

連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計
売上高				
外部顧客に対する売上高	4,110,127	3,426,433	5,769,476	13,306,037
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52	5,874	5,927
計	4,110,127	3,426,486	5,775,350	13,311,964
セグメント利益又は損失(△)	△553,962	△1,302,255	952,062	△904,154
セグメント資産	3,405,689	3,042,320	12,797,568	19,245,578
その他の項目				
減価償却費	63,625	256,509	139,165	459,300
のれんの償却額	27,717	—	—	27,717
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	228,212	570,543	7,423	806,179

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)
(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,223,876	13,311,964
セグメント間取引消去	△5,613	△5,927
連結財務諸表の売上高	17,218,262	13,306,037

(単位:千円)

利益又は損失(△)	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	950,951	△904,154
セグメント間取引消去	△1,323	△3,884
全社費用(注)	△776,022	△719,254
連結財務諸表の営業利益又は損失(△)	173,605	△1,627,293

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,736,095	19,245,578
全社資産(注)	6,564,351	7,419,931
その他の調整額	△315,948	△557,972
連結財務諸表の資産合計	23,984,497	26,107,538

(注) 親会社における余資運用資金(現預金等)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る投資等であり
ます。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	376,657	459,300	32,476	33,265	409,133	492,566
のれんの償却額	—	27,717	—	—	—	27,717
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	350,813	806,179	6,612	9,019	357,426	815,198

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループでは、サービス別のセグメント区分を行っており、報告セグメントと同一の内容となるため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は有りません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループでは、サービス別のセグメント区分を行っており、報告セグメントと同一の内容となるため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は有りません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
減損損失	1,669	166,415	—	168,084	—	168,084

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
減損損失	74,117	490,293	—	564,410	—	564,410

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
当期償却額	27,717	—	—	27,717	—	27,717
当期末残高	157,067	—	—	157,067	—	157,067

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,767円57銭	1,496円95銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	6円60銭	△303円13銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	50,638	△2,292,494
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	50,638	△2,292,494
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,676,722	7,562,744

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	13,547,306	11,300,100
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	27,995
(うち非支配株主持分 (千円))	—	27,995
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	13,547,306	11,272,105
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数 (株)	7,664,353	7,530,033

(重要な後発事象)

該当事項はありません。